

日本と中国

Japan and China Friendship Newspaper

昭和42年2月6日第三種郵便物認可/発行/公益社団法人日本中国友好協会

飯田地域版/編集: 飯田日中友好協会/会長: 清水可晴

飯田日中のニュース 2021年5月号第333号

事業の予定

今月5月の活動予定

9日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

20日(木) 豊丘帰国者サロン教室/豊丘はつらつ

23日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

コロナ禍での定期大会中止と今後の展望

飯田日中友好協会会長 清水可晴



第59回(2021年度)飯田日中友好協会の定期大会を6月12日に計画しておりましたが、ご案内のとおり、新型コロナウイルス感染症は、変異株をともなって第4波に覆われ、首都圏及び県内一部にも拡がり、5月の連休の不要不急の外出自粛、イベント、会議の自粛要請など、市民生活に大きな影響が出ています。この様な状況の中、定期大会を中止し、3密を避けるために、定期大会に次ぐ議決機関として、4月13日の理事会にて大会議案を決定し、総会資料を会員の皆様に送付します。昨年に続いての総会中止となり、誠に残念ですが、緊急事態に免じてご理解をお願い申し上げます。またご来賓各位におかれましては、本来ご招待し、大会に華を添えて頂き、ご挨拶を賜るところですが、新型コロナウイルスの影響による3密を避けるために、大会資料を送付させていただきますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

最近の日本と中国との関係は、昨年は戦後75年、日中友好協会創立70年目の節目の年にあたり、両国首脳訪問、創立70周年祝賀行事等により、両国関係の好転が期待されましたが、新型コロナウイルスの感染拡大によって人的交流が出来なくなり、経済、文化、スポーツ交流等にも深刻な影響を及ぼし、東京オリンピック・パラリンピックも延期となりました。また、米中対立も激化し日中・日米関係も強い影響を与えています。国際情勢が激変する中で、今後紆余曲折も予想されますが、14億人の人々が住む、歴史的にも経済的にも深いかわりを持つ中国と、不再戦・平和友好・覇権反対を大切にして、安定的な日中友好協力関係を築きたいものです。そして、日中友好交流を進めるためには、新型コロナウイルスの終息を願うばかりであります。

さて、昨年の飯田日中友好協会の主な事業を振り返りますと、新型コロナ感染症の影響で、多くの事業が中止となりましたが、その中でも、満蒙開拓平和記念館運営費の支援、共同墓地の清掃、帰国者の日本語教室などコロナ対策を徹底し、事業を行うことが出来ました。また、昨年10月の飯田市長選で初当選を果たした佐藤健市長に、飯田日中友好協会に加入頂き、12月には満蒙開拓平和記念館の視察及び懇談をさせて頂きました。佐藤市長には、私たちの今後の運動に後押しを頂けるものと思います。

新年度事業については、コロナ禍の中で知恵を絞り事業を計画したいと考えています。オンライン講演会の開催、三密を考慮して、中国帰国者の理解を深める交流事業や、サロン教室、共同墓地の管理、帰国者の皆様の生活の安定、不安解消に行政の理解を求め、相談支援を行いたいと思います。

また、満蒙開拓平和記念館の運営支援を積極的に行うとともに、平和友好の碑に刻まれている『前事不忘・後事之師』を教訓として、私たちは過去の歴史を忘れることなく、今の平和を大事にして、次世代に満蒙開拓の歴史を語り継ぎ、平和の尊さを学び、日中不再戦の決意を新たに、日中平和友好を発展させたいと思います。

最後になりますが、会員の皆さんには、新型コロナウイルスに感染しない様心がけて頂くとともに、ご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

先月4月の活動報告

11日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

15日(木) 豊丘帰国者サロン教室/豊丘はつらつ

25日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

13日(火) 飯田日中理事会/飯田市勤福センター

22日(木) 飯田日中会計監査会/喬木村福祉センター